

## わたしのたいせつなかぞく

一年 渡邊結心

わたしのおうちには、13さいのといぶうどるがいます。なまえは、ありすで、おんなのこです。わたしが生まれたときからずっといっしょなので、わたしのもうひとりのおねえちゃんです。

ありすは、かぞくといつもいっしょだけど、わたしががっこうにいっているあいだは、おとうさんとおかあさんもしごとでいなので、ひとりぼっちでるすばんをしています。わたしが、がっこうからかえってくる時、すぐよくこんで、おへやのなかをはしりまわって、わたしをペろペろなめて、

「おかえり、はやくあいたかったよ。」

と、いったようでした。ねるときもいっしょで、おなじべつどでねていて、とてもなかよしです。

ありすは、もうおばあちゃんなので、しんぞうがわるくて、まいにちくすりをのんでいます。まえにはをぬくしゅじゅつをしたときも、しんぞうがわるいから、とちゅうでしんじょうかもしれないといわれました。でも、わるいはは、ぬいたほうがいきできるとせんせいにいわれたので、してもらいました。わたしは、しゅじゅつのあいだ、ぶじにおわりますように。と、かみさまにおいのりしていました。おわってむかえにいったとき、あんしんしてなみだがありました。

このまえ、ありすがほっさをおこしてしまいました。ごふんぐらいずつとばたばたしてあるけなくなっていました。このまましんじょうかとおもって、すぐこわくなりました。びょういんにつれていくと、あたらしくすりをだしてもらいました。ありすは、またくすりがふえました。ずっとありますといっしょにいたいので、かぞくみんなでもっていききたいです。

ありすのおとうさんは、まるんといいます。おばあちゃんのおうちでかっています。でも3がつに17さいで、おそらのかみさまになってしまいました。

まるんは、みんなにとってもだいにじにされています。あるけなくなっても、おばあちゃんがあったことをして、ごはんやおみずをあげていました。おばあちゃんは、じぶんのこどものようにかわいがっていました。

でも、まるんは、おおきなこえで、(わんわん)とほえてしんじやいました。まるんは、(いままでありがとう)と、さいごにだいすきなおばあちゃんにいったんだとおもいました。みんなあさからずつと、ないてしまったけど、おそうしきをして、おわかれをしてきました。まいにち、まるんにおせんこうをあげて、

「まるん、おそらからみてね。またあいたいよ。」

と、いっています。ありすもまるんのぶんまでながいきしてほしいので、だいにじにおせわをしていきます。